

児童家庭相談システム機能要件書

別紙 2

機能		機能要件	必須
1	世帯員（児童・保護者）情報	1 氏名、生年月日、住所、生年月日、年齢等の情報を管理できること	○
		2 生年月日不明な状態でも登録できること	○
		3 性別が不明な状態でも登録できること	○
		4 氏名の入力により、自動的にカナが入力されること	
		5 他の世帯員情報をコピーして登録でき、入力を簡素化する仕組みがあること	○
		6 同一世帯に2人以上の対象児童がいた場合、ワンクリックで他の対象児童詳細画面へ遷移できること	
		7 住所は郵便番号から自動入力できること	
		8 生年月日を入力すると自動的に現在の年齢と学年が表示できること	○
		9 児童氏名（カナ）と生年月日と同じ児童データが既に存在する場合は、自動的にチェックし注意を促すこと	
		10 世帯員区分（児童、保護者等）、所属（〇〇小学校等）、学年、小学校区、職業等が管理できること	○
		11 ケース番号は自動採番に対応していること	○
		12 世帯番号については、居住実態等に即した世帯番号を住基上の世帯番号とは別で附番できること	
		13 世帯員・居住をともにする者の氏名や住所の変更を履歴管理できること	○
		14 対象者から見た家族の続柄が登録できること	○
		15 世帯員に関する備考情報の管理ができること	
2	ジェノグラム	16 システム上でジェノグラムを作成できること	○
		17 ジェノグラムにコメントを貼り付けられること	
		18 作成したジェノグラムを閲覧できること	
		19 画像ファイルを取り込むことができ、画像ファイルの上に図形等を追記できること	
3	担当者情報	20 児童に対する担当者の設定ができること	○
		21 担当者は複数人設定できること	○
		22 担当しているケースを一覧で確認できること	○
4	連絡先情報	23 連絡先情報の管理ができること	
		24 連絡先は複数登録可能であること	
5	外国人情報	25 本名、併記名、通称名、国籍、在留期間、在留資格等の情報を管理できること	
6	相談管理	26 相談経路、相談種別情報の管理ができること	○
		27 主訴の登録ができること	○
		28 相談者氏名、ケースとの関係性、相談者電話番号、相談者住所等の相談者情報が管理できること	○
		29 重症度、主な虐待者、副虐待者、虐待者の氏名、虐待種別、子どもの状況、通告日、通告者等の虐待情報が管理できること	○
		30 受理日、主担当者、処理内容、終結予定日、終結日付、終結理由等の管理ができること	○
		31 入力簡素化のため、他の相談情報をコピーして登録できること	
		32 入力簡素化のため、きょうだいと相談情報を共有できること	○
		33 児童ごとに協議会の対象とするか任意に選択できること	○
		34 児童ごとに行政報告例の対象とするか任意に選択できること	
		35 相談に関与する担当者、関係機関の管理が可能であること	
		36 児童票（相談受付票、通告受理票等）の印刷ができること	○
		37 送致書の印刷ができること	
		38 移管通知書の印刷ができること	

機能		機能要件	必須
7	経過記録	39 電話、会議、面談等の対応区分が選択入力できること	○
		40 実施日時を登録可能であること	○
		41 電話対応等で入力中に別画面を開く場合に活用できる途中保存機能があること	
		42 途中保存している場合は遷移元の一覧で「記録中」が表示され、作業中である旨が分かること	
		43 経過記録のタイトルを登録できること	○
		44 対応内容を入力、修正ができること	○
		45 経過記録の履歴をコピーして登録が可能であること	
		46 きょうだいと経過記録を共有できること	○
		47 経過記録が同日に複数ある場合、時系列に合わせての修正ができること	
		48 経過記録票の印刷ができること	○
		49 任意の経過記録を選択し、印刷ができること	○
8	会議管理	50 会議情報の管理ができること	
		51 議事録の登録ができること	
		52 入力した議事録を印刷できること	
		53 会議対象ケースの一覧が印刷できること	
		54 会議対象ケースの登録ができること	
		55 要保護ケース進行管理台帳の印刷ができること	○
		56 実務者会議の直近3回の会議結果を印刷ができること	
9	検索	57 全ての相談情報、経過記録の文言も含めて全文からフリーワード検索できること	
		58 システムに登録されている対象者を複数の条件で検索（複合検索）でき、結果をCSVファイルに出力できること	○
		59 検索に該当する対象者の世帯員情報、相談情報、経過記録情報をすべてCSVファイルに出力できること	○
10	住基連携	60 住民票の郵便番号、住所、方書、続柄の連携が可能であること	○
		61 転入前住所、祖父母住所等、その他住所の連携が可能であること	○
		62 世帯員の続柄、世帯に入った日、転居回数等が確認できること	
		63 DV（家庭内暴力）対象者の場合、メッセージ等で該当者であることが確認できること	
11	連携	64 国の情報共有システムに取り込む児童票情報を出力できること	○
		65 住基情報の取り込みに対応できること	○
		66 連携先が増えても対応が可能であること	
12	統計	67 年齢や相談種別など福祉行政報告例に必要なデータの未入力チェックができること	○
		68 第43児童相談経路別児童受付の印刷ができること	○
		69 第44児童相談種類別児童受付の印刷ができること	○
		70 第45児童相談種類別対応件数の印刷ができること	○
		71 第49の2市町村における養護相談の理由別対応件数の印刷ができること	○
13	権限設定	72 職員ごとにユーザーID、パスワードが設定できること	○
		73 管理者により、職員権限の設定、変更ができること	
14	その他	74 氏名や住所に変更があった対象者の一覧を表示でき、一覧から更新画面へ遷移できること	
		75 ケース情報画面に新たな管理項目を任意に追加できること	
		76 新たな管理項目は、テキスト入力型、日付型、プルダウン型、チェックボックス型から選択できること	
		77 入力中に別児童の照会があった場合に照会用の画面も展開もできるなど、一つのIDで二画面同時展開が可能で別の操作ができること	